

ダム湖生態系に関するセミナー

ダム湖沿岸帯（エコトーン）の生態系とその管理



湖沼の沿岸帯は、生物の多様性や生産・分解を支える重要な場所です。ダム湖では自然湖沼と比較して大きな水位変動があるため、独特の生態系が成立します。逆に、ダム湖の水位変動を積極的に利用して、生態系保全を進めることも可能です。本セミナーでは、ダム湖沿岸帯生態系について最新の研究成果を紹介するとともに、ダム湖沿岸帯の生態系の管理について議論します。

日時 平成 28 年 11 月 22 日（火） 13:30-17:00 （意見交換会 17:00-18:30）

場所 TKP 仙台 カンファレンスセンター3A、3B

主催 水源地生態研究会

後援 (一財)水源地環境センター、国土交通省東北地方整備局三春ダム管理所、応用地質(株)応用生態工学研究所、応用生態工学会



●参加費：無料（ただし、意見交換会については会費 3,000 円[当日徴収]）

●定員：100 名（定員になり次第締め切ります）

★CPD：「ダム湖生態系に関するセミナー」は土木学会継続教育(CPD)制度の認定プログラム（認定番号：JSCE16-1088、3.3 単位）です。

★申込み：①氏名・ふりがな②所属③意見交換会の出欠④連絡先（郵便番号、住所、電話番号、Email アドレス）を明記のうえ、メールで seminar@wec.or.jp（水源地環境センター研究第三部）までお申し込みください。



～プログラム～

13:30-13:35 開会（水源地環境センター）

13:35-13:40 来賓挨拶（国土交通省東北地方整備局河川部長）

13:40-14:10 基調講演「ダム湖沿岸帯（エコトーン）の生態特性と管理」
谷田一三（大阪市立自然史博物館）

14:10-16:10 研究発表

- 湖岸のヤナギ、棲みやすいのか、棲みにくいのか？
浅枝 隆（埼玉大学）
- ダム湖沿岸帯のアレチウリの特性と駆除
浅見和弘（応用地質株式会社）
- ダム湖における外来魚駆除
中井克樹（滋賀県立琵琶湖博物館）
三春ダム管理所
水源地環境センター
応用生態工学研究所
——休憩(15分)——
- ダム湖における溶存態・粒状態有機物の動態
吉村千洋（東京工業大学）
- 微量元素から追跡するダム湖生態系物質動態
東 信行（弘前大学）
- ダム湖水位変動帯に作られた各地のバイオトープ
大杉奉功（水源地環境センター）
- ダム湖の生物生息状況を環境 DNA で知る
松橋彩衣子（琉球大学）
源 利文（神戸大学）

16:10-16:55 質疑応答・議論
進行：浅枝 隆（埼玉大学）

16:55-17:00 閉会（国土交通省東北地方整備局三春ダム管理所長）

※17:00-18:30 意見交換会（発表研究のポスターを掲示し、解説を行います）

問い合わせ先：水源地生態研究会事務局
一般財団法人水源地環境センター 研究第三部
〒102-0083 東京都千代田区麴町 2-14-2 電話：03-3263-9945